

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 沼津土肥線（沼津市西浦古宇）

1 事業概要

全体事業費：	190百万円
計画期間：	平成28年度～平成31年度
計画概要：	道路拡幅工L=150m

2 目的・必要性

本路線は、沼津市口野から伊豆市土肥を結ぶ路線であり、西海岸唯一の生活道路であり、また、富士山を仰ぐことができる観光道路として重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	自動車交通量 1000 台/日以上	1 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合バス路線の定時制改善に資する道路	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	2 A
計			7 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 一般県道 仙石原新田線 裾野市深良

1 事業概要

全体事業費：	400百万円
計画期間：	平成28年度～平成32年度
計画概要：	道路拡幅工L=1, 100m

2 目的・必要性

本路線は、神奈川県境を起点とし、沼津市深良に至る東西路線であり、地域の生活及び観光道路として、重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	自動車交通量 1000 台/日以上	1 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		2 A
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 バス路線の定時制改善に資する道路	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	4 A
計			9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 一般県道 山中湖小山線（小山町藤曲）

1 事業概要

全体事業費：	10百万円
計画期間：	平成28年度～平成28年度
計画概要：	道路拡幅工L=30m

2 目的・必要性

本路線は、山梨県境から小山町藤曲に至る南北路線であり、地域の生活及び観光道路として重要な道路となっている。当該箇所は、道路幅員が狭く交差点形状が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、交差点改良を行い、交通の円滑化を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		1A
	安全な生活を実現するみちづくり	自動車交通量1000台/日以上	1A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 バス路線の定時制改善に資する道路	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	3A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	2A
計			7A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 富士宮鳴沢線（富士宮市人穴）

1 事業概要

全体事業費：	65百万円
計画期間：	平成28年度～平成30年度
計画概要：	道路拡幅工 L=250m

2 目的・必要性

本路線は、富士宮市上井出から山梨県境に至る路線であり、地域の生活及び観光道路として、重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且起点部の道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	自動車交通量 1000 台/日以上	1A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		2A
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 バス路線の定時制改善に資する道路	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	2A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	3A
計			8A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 須崎柿崎線（下田市柿崎）

1 事業概要

全体事業費：	4 4 百万円
計画期間：	平成 2 8 年度～平成 2 9 年度
計画概要：	歩道整備 L = 1 2 6 m

2 目的・必要性

本事業は、県道須崎柿崎線（下田市柿崎）の歩行空間整備である。当該区間は、浜崎小学校の通学路となっているが歩道が未整備である。このため、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・歩行者交通量・自動車交通量	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	他事業との調整	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み	2 A
計			1 S 1 1 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 国道 1 3 6 号

1 事業概要

全体事業費：	4 0 百万円
計画期間：	平成 2 8 年度～平成 2 9 年度
計画概要：	カラー舗装工 L = 1. 0 k m

2 目的・必要性

本事業は、国道 1 3 6 号（西伊豆町仁科地内）の歩行空間整備である。当該区間周辺には、観光施設や公共施設があることから自動車交通量及び歩行者交通量が多い。このため、歩道へのカラー舗装を行い歩行者の安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	歩行者交通量・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	3 A
計			8 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 国道 1 3 5 号（河津町見高）

1 事業概要

全体事業費：	2 5 百万円
計画期間：	平成 2 8 年度～平成 2 9 年度
計画概要：	歩道整備 L = 1 1 5 m

2 目的・必要性

本事業は、国道 1 3 5 号（河津町見高地内）の歩行空間整備である。当該区間は、河津町立東小学校の通学路であるが、歩道の未整備区間が残る。このため、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・死傷事故率・歩行者交通量 自動車交通量	6 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業効果・事業期間	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	2 A
計			1 1 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備事業

路線名：国道 135 号（東伊豆町奈良本）

1 事業概要

全体事業費：	25百万円
計画期間：	平成28年度～平成29年度
計画概要：	歩行空間整備 L = 200m

2 目的・必要性

本事業は、国道 135 号（東伊豆町奈良本）の歩行空間整備である。当該区間周辺には、観光施設が点在することから自動車交通量の多い箇所である。このため、既設側溝への蓋かけによる歩行空間整備を行い、歩行者及び自転車の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	死傷事故率・自動車交通量	3 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元からの熟度	3 A
計			8 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備事業

路線名：国道 135 号（河津町谷津）

1 事業概要

全体事業費：	20 百万円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	歩行空間整備 L = 200 m

2 目的・必要性

本事業は、国道 135 号（河津町谷津）の歩行空間整備である。当該区間周辺には、観光施設が点在することから自動車交通量の多い箇所である。このため、既設側溝への蓋かけによる歩行空間整備を行い、歩行者及び自転車の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	死傷事故率・歩行者交通量・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業効果・事業期間	2 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み	2 A
計			8 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 沼津小山線 (御殿場市中山)

1 事業概要

全体事業費：	2百万円
計画期間：	平成28年度
計画概要：	歩道整備（段差解消）L=10m

2 目的・必要性

本事業は、県道沼津小山線（御殿場市中山）の歩行空間整備である。当該箇所は、富士岡小学校の通学路であるが横断歩道部に段差があることから、段差解消を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	3 A
計			1 1 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 清水函南停車場線（三島市梅名）

1 事業概要

全体事業費：	100百万円
計画期間：	平成28年度から平成30年度
計画概要：	歩道整備 L = 280 m

2 目的・必要性

本事業は、県道清水函南停車場線（三島市梅名）の歩行空間整備である。当該区間は、中郷小学校の通学路となっているが、車両乗り入れ部において歩道の段差が多いことから歩行空間整備（段差解消）の必要性が高い。このため、段差解消を行い、歩行者及び生徒の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	3 A
計			10 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 西椎路松長線（沼津市松長）

1 事業概要

全体事業費：	8百万円
計画期間：	平成28年度
計画概要：	歩行空間整備 L = 70m

2 目的・必要性

本事業は、県道西椎路松長線（沼津市松長）の歩行空間整備である。当該区間は、JR片浜駅へのアクセス道路であるが、歩道が未整備であることから、歩行空間確保の必要性が高い。このため、歩行空間整備（側溝工）を行い、歩行者の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	自動車交通量・自転車交通量・歩行者交通量	3 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	3 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	2 A
計			8 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 清水函南停車場線（三島市大場）

1 事業概要

全体事業費：	25百万円
計画期間：	平成28年度から平成29年度
計画概要：	歩行空間整備 L = 10m

2 目的・必要性

本事業は、県道清水函南停車場線（三島市大場）の歩行空間整備である。当該箇所（伊豆箱根鉄道の上沢踏切）は、中郷中学校の通学路となっているが歩道が未整備となっていることから歩行空間の確保が必要な箇所である。このため、歩行空間整備（側溝工）を行い、歩行者及び生徒の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	3 A
計			8 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 主要地方道 御殿場大井線 (御殿場市御殿場)

1 事業概要

全体事業費：	10百万円
計画期間：	平成28年度
計画概要：	歩道整備（段差解消）L=100m

2 目的・必要性

本事業は、県道御殿場大井線（御殿場市御殿場）の歩行空間整備である。当該区間は、東小学校の通学路となっているが車両乗り入れ部において歩道の段差があることから歩行空間の整備（段差解消）の必要性が高い。このため、段差解消を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量・歩行者交通量	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	4 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	3 A
計			1 2 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 主要地方道 一色久沢線 (富士市一色)

1 事業概要

全体事業費：	70百万円
計画期間：	平成28年度～平成30年度
計画概要：	歩道整備 L = 130m

2 目的・必要性

本事業は、県道一色久沢線（富士市一色）の歩行空間整備である。当該区間の周辺には、青葉台小学校やコミュニティセンターがあるが、歩道が未整備のうえ、視距が悪いことから歩道整備の必要性が高い。このため、交差点改良及び歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	関連事業との連携	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	2 A
計			1 S 9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 富士根停車場線 (富士宮市大岩)

1 事業概要

全体事業費：	5百万円
計画期間：	平成28年度
計画概要：	歩行空間整備 L = 40m

2 目的・必要性

本事業は、県道富士根停車場線（富士宮市大岩）の歩行空間整備である。当該区間は、富士見小学校の通学路であるが歩道が未整備であることから、歩行空間整備（路肩拡幅）を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・死傷事故率・自動車交通量	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	2 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	3 A
計			9 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 富士富士宮線 (富士宮市宮原)

1 事業概要

全体事業費：	20百万円
計画期間：	平成28年度～平成29年度
計画概要：	歩道整備 L = 70m

2 目的・必要性

本事業は、県道富士富士宮線（富士宮市宮原）の歩行空間整備である。当該区間の周辺には、公園等の公共施設があることから歩行者が多いが、当該区間は歩道未整備区間として残されている。このため、歩道整備を行い歩行者の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	死傷事故率・歩行者交通量・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み	1 A
計			8 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 国道 4 7 3 号 (川根本町三ツ間)

1 事業概要

全体事業費：	3 百万円
計画期間：	平成 2 8 年度
計画概要：	視距改良 L = 2 0 0 m

2 目的・必要性

本事業は、国道 4 7 3 号（川根本町三ツ間）の道路拡幅である。当該区間は、曲線区間が連続し見通しが悪いため、道路拡幅を行い、視距を改善し交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	自動車交通量	2 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	1 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	3 A
計			6 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 主要地方道 焼津榛原線（焼津市田尻）

1 事業概要

全体事業費：	100百万円
計画期間：	平成28年度から平成30年度
計画概要：	歩道整備 L = 5.5 m

2 目的・必要性

本事業は、県道焼津榛原線（焼津市田尻）の歩行空間整備である。当該区間は、和田小学校の通学路であるが、歩道が未整備となっており、通学路合同点検においても要対策箇所となっている。このため、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・死傷事故率・歩行者交通量・自動車交通量・用地取得の見込み・	6 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	合同点検箇所・事業着手準備制度	2 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	4 A
計			2 S 1 3 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 静岡焼津線（焼津市浜当目）

1 事業概要

全体事業費：	17百万円
計画期間：	平成28年度
計画概要：	歩行空間整備N=1箇所

2 目的・必要性

本事業は、県道静岡焼津線（焼津市浜当目）の歩行空間整備である。新設される(仮称)浜当目トンネル坑口付近への歩行空間整備を行い、歩行者の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	死傷事故率・歩行者交通量・自動車交通量	4 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	関連事業・事故危険箇所	2 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	3 A
計			2 S 1 0 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 伊久美藤枝線（藤枝市西方）

1 事業概要

全体事業費：	5百万円
計画期間：	平成28年度
計画概要：	歩行空間整備 L = 40m

2 目的・必要性

本事業は、県道伊久美藤枝線（藤枝市西方）の歩行空間整備である。当該区間は、葉梨中学校の通学路となっているが歩道が未整備である。このため、既設側溝への蓋かけによる歩行空間整備を行い、歩行者及び生徒の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・歩行者交通量・自動車交通量	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検実施箇所	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	3 A
計			1 S 1 1 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 榛原金谷線（牧之原市勝間）

1 事業概要

全体事業費：	300百万円
計画期間：	平成28年度から平成31年度
計画概要：	歩道整備 L = 200m

2 目的・必要性

本事業は、県道榛原金谷線（牧之原市勝間）の歩行空間整備である。当該区間は、勝間田小学校の通学路となっているが歩道が未整備であることから、通学路合同点検における要対策箇所となっている。このため、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・歩行者交通量・自動車交通量	6 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検実施箇所	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業効果	2 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	1 A
計			1 S 9 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 掛川袋井線（袋井市国本）

1 事業概要

全体事業費：	120百万円
計画期間：	平成28年度から平成31年度
計画概要：	歩行空間整備L=1.3km

2 目的・必要性

本事業は、県道掛川袋井線（袋井市国本）の歩行空間整備である。当該区間は、袋井東小学校の通学路となっているが歩道が未整備であることから、既設側溝への蓋かけによる歩行空間整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	3 A
計			9 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備

路線名： 一般県道 菊川停車場伊達方線（菊川市西方）

1 事業概要

全体事業費：	200百万円
計画期間：	平成28年度から平成32年度
計画概要：	歩道整備 L = 200m

2 目的・必要性

本事業は、県道菊川停車場伊達方線（菊川市西方）の歩行空間整備である。当該区間は、堀之内小学校の通学路となっているが歩道が未整備であることから、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 Δ
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得の見込み・地元の熟度	2 A
計			8 Δ

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）